

食べたいパンの絵実現

県内10店舗 杏林堂が2種類発売

杏林堂薬局（浜松市中区）は1日、県内の幼児が寄せた「食べたいパン」の絵を基に新たに考えた菓子パン2種類の販売を始めた。



幼児の絵を基に商品化した菓子パンを紹介するスタッフ＝浜松市東区の杏林堂薬局和田店

東区の高家園和田店など手作りパン工房ナチュールのある県内の10店舗で取り扱う。販売は2月末まで。応募作品603点の

中から優秀賞に選ばれ、商品になったのは、湖東幼稚園の高家来那ちゃん(5)の「にこにこひまわりパン」と、鹽江幼稚園の平野瑞希ちゃん(6)の「フルーツレサパン」。

ひまわりパンは、メロンパンの周りにパン生地を花びらのように付け加え、目と口をチョコレートで表した。おやつに最適なレサパンは、カスタード味をベースにりんごジャムやパイナップルを盛り

付けた。

同薬局と、多様な地域貢献に取り組みLPガス販売業のエネジック（中区）が共同で企画した。同薬局ドラッグストア営業本部の中野晴司さんは「想像が実際に商品になる楽しさを感じてもらえたら」と話した。

優秀賞以外の入賞者は次の通り。
 山内誠斗（あそびこども園） 勝沢行志（すだじこども園） 沢田琉生（れんげこども園） 木下真緒（同） 村松寿紀（鹽江幼稚園） 川合駿翔（城北幼稚園） 吉田花湖（富塚幼稚園） 山田花（北浜幼稚園）